

第13回 ～手紙を読んで考える～

5月27日(水)

みなさん、おはようございます！ 今日からいよいよ『アイスプラネット』の最終場面です。今までお疲れさまでした。残りもう少し、力を振り絞って頑張っていきましょう！

○今日の課題

- ・ 5 場面（25 ページ 7 行目～27 ページ 5 行目）を読もう。
- ・ 手紙に込められた「ぐうちゃん」の思いを想像しよう。

まずは、教科書 25 ページを開きましょう。7 行目から 4 場面が始まります。「ぐうちゃん」から手紙が送られてくる場面です。この物語の最終場面となります。

「ぐうちゃん」は手紙の冒頭で、「あのときの話の続きだ。」と述べています。「あのとき」とはいつのことでしょうか？ 探してみましょう。

見つかりましたか？ 教科書 22 ページ 13 行目を見てみましょう。「ぐうちゃんは続けて話したそうだったけれど、」とあります。ここが「あのとき」です。**アイスプラネットの話の続き**をしているんですね。

そして、手紙には写真が 2 枚入っていました。「ナマズ」と「アイスプラネット」の写真です。どうして写真が入っていたのでしょうか？ 「写真」の話題が出る場面を思い出しましょう。

思い出せましたか？ 教科書 23 ページの 2 行目に「証拠の写真見せろよ」がありますね。これに対して「ぐうちゃん」は**「いろいろ見せてあげるよ」という約束**をしています。このときの約束を守ったんですね。

さて、そんな手紙と写真ですが「ぐうちゃん」はこれに**どのような思いやメッセージを込めた**のでしょうか。（「僕」にどうなってほしい？ 「僕」に何をしてほしい？ など）考えて**ノートに書きましょう**。教科書の言葉をそのまま使っても、自分で想像して書いても構いません。

まだ続きます！！

〇さらに学びたい人へ

- ・あなたが「僕」だったら手紙を読んで、何をしますか？

物語は手紙と写真が届いて終わってしまいます。残念ながら、この手紙を読んだあとのことは記述されていません。この手紙を読んで「僕」はどのように感じ、このあと何をしたのでしょうか？それは想像することしかできません。

それでは、もしあなたが「僕」だったらどうするでしょうか？手紙を読んでどのように感じるか、手紙を読んだ後どんなことをしようと思うか。自分の言葉でノートに書いてみましょう。

今日の日本語のふしぎ

今日はクイズを出題します。言葉のトリックに引っかからずに正解できるかな？

第一問 同じ日、同じ時間に同じ両親から、太郎と次郎が生まれました。でも、彼らは双子ではありません。なぜでしょうか？

第二問 幼稚園・小学生・中学生・高校生・大学生、この中で一番大きいのは？

第三問 ある板がある。この板の上にあるものを作った。しかし、板は軽くなった。何を作ったのでしょうか？

第四問 太郎君は4人兄弟です。長男は一郎、次男は二郎、三男は三郎です。では四男の名前は？

分かったかな？ 解答は明日掲載します！！

2年生 休校期間 特別講座 ～社会科⑬～

おはようございます。今日は、予定を変更して、歴史から少し離れて、少し現在の日本について勉強してみましょう。いよいよ学校が始まるのだけれども、登校が始まるということは、それはつまり、どうして自分たちは学校に通うのか、その理由を見つける旅がスタートするということなんだ。

下に載っているもののひとつである、現在の教育界で注目を浴びているキーワードである「**非認知能力**」。このワードには、僕は2年前に出会った。そして最近、購入した本の中にこのワードが載っていて、改めてその重要性に気付かされ、これから生きるみんなに紹介したいと思ったんだ。この言葉を知れば知るほど、みんなは「これからをどう生き抜くか」を考えるチャンスに出会うかもしれない。ぜひ調べてみてね。

それでは今日は、①問題を書く ②下に調べた内容や、自分の考えを書くという順序で進んでいくよ。

- ① 日本政府が打ち出した「**特別定額給付金**」とは、どのようなものですか。

- ② この「特別定額給付金」の給付によってできた「国の借金」は、だれがどのようにして返していきますか（返していくと思いますか？）？

だれが

どのようにして

- ③ ②によって、これからの日本の経済は、良くなっていくと思いますか？悪化していくと思いますか？
自分の考えとその理由を書きなさい。

良くなっていく 悪化していく

その理由：

- ④ 『**非認知能力**』とは、どのような能力ですか。また、この能力が高い人は、**将来どのような人生を歩む可能性が高い**と言われていませんか。

『非認知能力』とは？

どのような人生を歩む？

- ⑤ 本日の学習の感想を書きましょう。

興味をもって、調べてみてくれてありがとう！

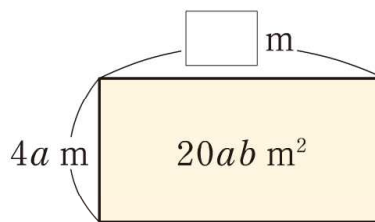
2年数学13時間目 (教科書22ページ)

今日は単項式と単項式の除法を覚えよう!

☆右の長方形の面積は $20ab \text{ m}^2$ で、

縦の長さは $4a \text{ m}$ です。

横の長さは何 m になるでしょうか?



<考え方> 次の計算になるよね。

$$20ab \div 4a = 5b$$

つまり横の長さは、 $5b \text{ m}$ である。

<計算方法を覚えよう>

方法ア 分数の形で約分

$$20ab \div 4a$$

$$= \frac{\cancel{20} \times \cancel{a} \times b}{\cancel{4} \times \cancel{a}}$$

※数字は数字、文字は文字で約分

$$= 5b$$

方法イ 割り算は「×逆数」だ

$$20ab \div 4a$$

$$= \cancel{20} \cancel{a} b \times \frac{1}{\cancel{4} \cancel{a}}$$

※数字は数字、文字は文字で約分

$$= 5b \times 1$$

$$= 5b$$

では、 $12x \div \frac{4}{5}y$ の計算は、どのようにするといいいですか?

渡邊先生は次のように計算しました
どうでしょう?

$$12x \div \frac{4}{5}y$$

$$= 12x \times \frac{5}{4}y$$

$$= 3x \times 5y$$

$$= 15xy$$

ここがおかしいと気がつきますか??
逆数はこれでいいのでしょうか?

$\frac{4}{5}y$ の逆数

$$\frac{4}{5}y = \frac{4}{5} \times y$$

$$= \frac{4y}{5}$$

この $\frac{4y}{5}$ を逆数にする

つまり、正しい計算方法は以下になります。

$$\begin{aligned} & 12x \div \frac{4}{5}y \\ &= 12x \div \frac{4y}{5} \\ &= 12x \times \frac{5}{4y} \\ &= 3x \times \frac{5}{y} \\ &= \frac{15x}{y} \end{aligned}$$

今日はここまでです。

明日×逆数の練習と、乗法、除法の混じった式を練習します。

理科 5月27日(水)

◆今日のひとこと◆

呼吸って一言でいっても色々な呼吸があります。私は鼻を使った呼吸が苦手で、大抵口で呼吸している気がするのですが、上手に歌うことや、走るためのトレーニングには鼻から吸って口から吐く「腹式呼吸」が大事だそうです。特に、歌うときには「自分の好きな物が目の前にあると想定して、においを嗅ぐように空気を取り込むのがいい」と。みんなで思いっきり歌を歌える日が来たら、試してみてください。

富岡



野呂

昨日のひとことの答えは③のゾウ！なんと三時間。肉食動物から身を守るためと草食動物のたべる植物はカロリーが低いから、長時間食べ続ける必要があるんだよ。昨日のうでだめしの答えは、「効率良く栄養を吸収することができるという点」。今日の課題の最後に、身の回りのものでおなじような理由で、表面積が大きくなっているものを一つ書いてみよう。いくつかあるけど、例えばお風呂にヒントが・・・。

◆本日の課題◆「生命を維持するはたらき②」

「息を吸う」「息をはく」という運動について教科書p23を参考にして説明しましょう。

条件：横隔膜、肺、胸こうという言葉必ず入れます。

♡うでだめし課題♡ 余裕がある人はチャレンジを！



- ①しゃっくり
- ②あくび
- ③いびき
- ④くしゃみ

は呼吸の一種ですが、それぞれどのような仕組みで起きるかネット等で調べてノートにまとめましょう。



Keep Moving Forward 休校期間『英語』特別講座

Lesson 1 Bits of Knowledge

問) 名詞の前につける a と an と the について、その違いや使い分け方を考えてみましょう。
まず、a と the の違いについて説明してみましょう。

a ⇒ これまで全く話題にのぼっていなかった名詞で、初めて話題に出てくるものには「a」をつける。「とある～」と訳して、しっくりくる場合に用いる。

the ⇒ すでに話題に出てきた名詞で、「その」と訳すことができる時には「the」をつける。

つまり、「すでに会話に出てきた（決まった）〇〇」の場合には the を用いて、「今初めて話題にのぼる（まだ決まっていない）〇〇」の場合には a を用いるのです。

a pen : 「(まだ話題になっていない) とあるペン」という意味になります。

an orange : orange が o (オー) から始まるので an になります。

the park : 「(すでに話題に出てきた) その公園」という意味になります。

the animal : animal が a (ア) から始まるので、the (ジ) と発音します。

※これ以外にも、「a は数えられる名詞にしかつかないし、(ひとつの) という意味をもつので単数形にしか使用しない」というきまりがあります。一方「the は数えられない名詞にもつけることができますし、(ひとつの) という意味をもたないので複数形にも使用できる」ということになります。

今日の問い⇒数えられる名詞と数えられない名詞とは、どんなものがあると思いますか？例をいくつか挙げてもいいので、考えてみよう。この感覚をつかめば、君も **a(an)マスター** だ！！(別になりたくないか…)

Lesson 2 Studying with Textbooks

≪ 5 行日記の日本語訳を掲載してみました ≫

- ① I **watched** the movie with my son in my house. 「私は家で息子と映画を見ました。」
- ② We **ate** fried potatoes at that time. 「私達は、その時フライドポテトを食べました。」
- ③ It **was** very interesting. 「それ(映画)は、とても面白かったです。」
- ④ After that I **played** catch with my daughter. 「そのあと、私は娘とキャッチボールをしました。」
- ⑤ It **was** a fun Sunday. 「とても楽しい日曜日でした。」

「ある日曜日の、松井先生の平凡な日曜日を日記に表してみました。息子は映画にハマっていて、娘は家の前でのキャッチボールにハマっています。娘とのキャッチボールは、まっすぐボールが飛んでこないの、ボールを拾いに行くことの連続。ほとんどジョギングみたいなものです…」

「気を取り直して**昨日の表の答え**を掲載してみます。」

現在（原形）	意味（現在で）	過去形	現在（原形）	意味（現在で）	過去形
take	持っていく	took	say	言う	said
catch	つかまえる	caught	make	作る	made
see	見える	saw	find	見つける	found
read	読む	read			

「次に、前回の問題の答えを掲載します。マルつけをしてみてください。」

《練習（解答編）》

- 1) I (**went**) to Osaka with my friends last month. 「私は先月、友達と大阪に行きました。」
- 2) He (**took**) a lot of pictures yesterday. 「彼は昨日、たくさんの写真を撮りました。」
- 3) (**Did**) you (**study**) math last night? 「あなたは昨夜、数学を勉強しましたか。」
- 4) Ken (**had**) a nice bag last week. 「ケン先週、素敵なカバンを持っていました。」
- 5) I (**read**) some books two days ago. 「私は2日前、何冊か本を読みました。」

「(3) の study は、**疑問文で Did を用いて過去を表現している**ので、**study のまま**です。接続詞などを含まない1つの英文においては、過去を表す目印は1カ所だけになります。(5) の read については、上の表にもあるように、過去形になっても文字は変わりません。しかし、なんと！**読み方だけ変わる**のです。(リード) が (レッド) のような感じになります。」

「それでは、今日の学習内容に入っていきます。今日は、be 動詞の過去形についてです。教科書のベーシックダイアログを参考に、仕組みを見ていきましょう。」

A さん：I **was** busy with my homework. 「私は宿題で忙しかった。」

B さん：**Was** it difficult? 「それは難しかったですか。」

「上記のように、am の過去形は was になります。現在でも過去でも、同じ be 動詞ですから疑問文や否定文の仕組みは変わりません。ですから、am are is で do を用いないことと一緒に、be 動詞の過去形では did を使いません。下の表を見てみましょう。」

現在形	過去形
am	was
are	were
is	was

※am と is の過去形は一緒なんですね。なぜでしょうか？今度授業で話題にしてみましょう。

「それでは、下の練習問題に取り組んでみましょう。」

《練習》 () 内から適する語句を選びましょう。余裕のある人は、日本語訳も書いてみよう。

- 1) I (am / are / is / was / were) in Hakodate **last week**.
- 2) (Am / Are / Is / Was / Were) you a teacher **ten years ago**?
- 3) It (am / are / is / was / were) not sunny **last Sunday**.

「回答は明日掲載します。お疲れ様でした。この特別講座もあと2回ですね。早く授業したいな〜。」

Lesson 3 My Impressions of the Past Few Months

残念ながら、スペースがなくなってしまいました。今日はこのコーナーをお休みしますね。

楽器を見つめよう③

いよいよ来週、月曜日から少しずつ学校生活が再開されますね。

お箏の授業は、6月15日以降になります。

右の図のように、優雅なひとときになればすてきですね。あ、着物を着たりはしませんよ。

ところで、猫塚は今、ヒゲダンを学んでいます。「学ぶ」だなんて大げさでしょうか？ヒゲダンを好きだ、と言っていた生徒の顔を思い浮かべながら、聴いています。単純に「知らないことを知る」のは楽しいですね。

音楽なので、なおさら楽しいのかもしれない。

私にとって耳に馴染みやすい音楽ではないけれど、だからこそ勉強になります。ではまた…来週お会いしましょう！



今日のお題：『箏』を描こう！

→A4サイズの紙をご用意ください！

本日はまた、1年生の時の音楽の教科書を開きましょう。

42ページに、下のような図があります。教科書がない人は、この画像をがんばって見てください。



①じっくりよく見て、スケッチをしてください。

②前回の課題で描いた『琵琶』と見比べ、どんな違いがあるか、説明してください。

*** 用紙には、氏名の記入をお忘れなく！**

おすすめ課題：普段は聴かないような音楽に親しもう！

私の「ヒゲダン」のように、普段の自分が聴かないようなジャンルの音楽にふれてみてはどうですか？音楽(上)の教科書では、P.58～61でも、さまざまなジャンルの音楽を紹介しています。

YOUTUBEが視聴できる環境でしたら、あと4・5日、新しい音楽の世界と出会ってみるのも楽しいのではないのでしょうか…？そうではない人はごめんなさい…学校再開をした後に相談に来てください！